
坂道攻略法

夏山 僕

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

坂道攻略法

【コード】

N9340N

【作者名】

夏山 僕

【あらすじ】

突如、自転車を漕ぐ僕の目の前に飛び込んできた坂道攻略法。いったいどんな攻略法なんだろう・・・。

いつも通り、駅までの道のりを、自転車に乗って鼻歌まじりで走っている。

いつもの見慣れた景色になんとか違和感を感じた。

駅までの道のりは自転車で25分。

山を切り崩した住宅街に住んでいるせいで、

駅に向かう途中、結構な上り坂を上ったり下ったりしないといけない。

会社に行かなければいけない、という義務感がなければ、今日にでも自転車通勤をやめたいと思うてしまう道程だ。

実際の所、バスの便も多いから、バス通勤も可能なんだけど、

片道200円ほどの交通費の節約と、ダイエットも兼ねて、オヤジの体に鞭を打っている現状だ。

そう、それで違和感の話。

それは電柱にあった。

僕が上り坂を必死こいて上っていると、電柱に安い貼り紙が貼ってあった。

そこには大きくこう書いてあった。

「自転車版！坂道攻略法」

ふらふらしながら自転車を漕いでいる僕の目に大きく飛び込んできたという事は、

たぶん、相当目立つ書き方だったんだろう。

ただ、これから会社に行かなくちゃいけなかった僕は、

当然、立ち止まってその張り紙を見る余裕もなく、そして、そんなものを立ち止まってみるなんて恥ずかしいという気持ちもあった。

でも、駅に着いても、電車に乗っても、会社に着いても、仕事中でも、昼食中も、夕食中も

ずっとあの張り紙のことが気になっていた。

結局、仕事が忙しくて帰るのが夜遅くになってしまった。

会社から帰る途中、僕は心の中でずっと同じ事を考えていた。

『あの張り紙、まだ剥がされないで、残っているかな……。』

地元の駅に着いたのは、もう日付が変わろうかという時間。

僕は足早に駐輪場に向かった。

いつもだったら喫煙所に寄ってから、駐輪場へ行くんだけど……。

そして、素早く自転車に乗り、必死にスピードを出す僕。

気が付けば、朝、苦労した上り坂を下っていた。

「もうすぐ、あの貼り紙が貼ってあった電柱だ。どうか残っていてくれよ。」

いつもだったら勢いに乗って通り過ぎる場所で、僕は自転車を止めた。

幸い、電柱のいかかわしきは、朝と同じだった。

周りに人が見当たらないのをいいことに、僕は貼り紙をじっくり見た。

「禁断の坂道攻略法」と大きく書かれたその下に、小さくURLが

乗っていた。

今の時代普通だったら、『坂道攻略法』で検索とか書いてありそうなのに

URLしか書いてなかった。

<http://saka-kouryaku.dqn/>

dqn?

聞いたこと無いドメインだな……。と思いつつも僕はメモを取った。

そして、また猛スピードで自転車を漕ぎ、家に帰ってすぐPCの電源を入れた。

PCが立ち上がるまでの間、トイレへ行き、タバコを吸うことにした。

タバコを吸い始めると、ウィンドウズの起動音がした。

僕はそそくさとタバコを消し、PCへ向かった。

メモをみるまでもなく「さか 攻略・ドキュン」と入力した。

エンターを押すと、背景が真っ黒のいかげわしいページが目飛び込んできた。

そこには「禁断の坂道攻略法」と大きく筆文字で書かれていた。

「攻略可能な坂の検索はコチラ」というリンクがあった。

そこを押してみると、県別に分かれていたので、僕は神奈川県を押した。

すると今度は市町村が出てきたので藤沢市を押した。

ずらずらと坂の名前がある中に僕の地元の坂「男坂」もあった。

他の県がどれだけ書いてあるのか確かめようと思ったけど、

早く攻略法を知りたい僕は、慌ててトップへ戻った。

そして「目的の坂が見つかった方はコチラ」という所を押した。
そこには「この攻略法が使えるか、チェックリスト」というのがあった。

？DAPは持っていますか？

？持病など、体調は悪くありませんか？

？本当に坂を攻略したいですか？

？この攻略法は、情報を提供するものであり、返品はできませんが、よろしいですか？

DAP？

僕はまず、一問目でつつかえた。

しかしDAPにリンクを示す下線が引いてあったので、僕はそこを押した。

するとポップアップウィンドウが開いた。

飛ばされた先は「YhoO!知恵袋」だった。

質問の内容は「DAPってなんですか？」だった。

そしてベストアンサーに選ばれた回答は

「デジタルオーディオプレイヤーのことです。」と書いてあった。

そっか、デジタルオーディオプレイヤーのことか……。

そう思いながらベストアンサー以外の回答をなんとなく見たら、

「ぐぐれ！ボケ！」とかそんなのばかりだった。

えっと、DAPね。ずいぶん昔になんかのオマケでもらった

ipod shuffleの256Mがあったな、確か。

で、次。持病はなし。

坂は攻略したいだろ！だからこのページに来たんだろ！と軽くHPにツッコミ。

返品って……。いくらぐらいするんだろ……。。

昔、パチンコ攻略法で自己破産した人をテレビで見たことあるけど。

。。。

そしてチェックリストの下には、「全ての条件を満たした方はGO
！」
というボタンがあったから、押してみた。

すると、個人情報の入力フォームがあった。

まず、HN。

え？HN？本名じゃなくていいの？

次、メールアドレス（情報の送り先になります）。

（フリーメール可）って書いてあるから、前に捨てで作ったヤフー
メールを入力。

次、支払い方法。

銀行振り込み、または、クレジットカード、切手も可。

切手って。。。

クレジットカードが一番対応が早そうだから、カードを選んで・・・
。

そして「以上でOK!」というボタンを押した。

アレ？肝心の金額が書いてなかったけど。。。見落としたかな・・・
。。。

と思っただら次のページに金額が出た。

禁断の坂道攻略法

通常価格25万円のところ、先着10名様まで2500円。

以上でよろしければ、送信ボタンで情報GET!

ん。どうしたら99%引きになるのか理解できないけど、

ま、だまされても2500円だからいいや、と送信ボタンを押した。
さ、あとはメールが来るのを待つのみ。
つてすぐ来た。

わくわくしながらメールの内容を見ると、PDFの添付ファイルが
付いていた。
まずは本文をよく読んで・・・っと。

「お待たせしませんでしたWWW早速PDFを読んでちょ！」
と、かなりフレンドリーな文章が、一行書いてあるだけだった。
嫌な予感を押さえつつ、僕はPDFを開いた。

PDFファイルは、ノートに手書きで書いてある文章をスキャンし
たようなものが数頁だった。
しかも大きくて明らかに頁数を稼いでるだろ！とツツコミを入れた
くなるような書き方だった。
僕はその全部をおよそ3分で読み終えた。

その内容を要約すると・・・。

上り坂に一番有効な攻略法は、精神を元気に保つこと。
例えば、お気に入りの音楽を携帯プレーヤーで聴くなどして、
心を落ち着かせたりするのもいいかもしれません。
あとは、呼吸法です。
なるべく息を止めないようにすること。

人は苦しいとき歯を食いしばって、息を止めてしまふ習性がありま
すが、それは、危険です。

適度な呼吸は上り坂を制すると言っても過言ではありません。

そんなようなことがつらつらと書かれていた。

騙された……。僕はそう思った。

まあ、だいたいの予想はついていただけ、やっぱりだった。

ま、いいや。

だまされてもいいと思って買ったわけだし、メールアドレスも捨てアドだし……。

でも、僕のような人がいっぱいいて、この人（達？）は儲かっているんだろうな。

と、僕は思った。

そして、ipod shuffleを充電するためにUSBに差し、僕は寝ることにした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9340n/>

坂道攻略法

2010年10月8日12時48分発行